

(別紙2-1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年3月25日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4271200588		
法人名	医療法人 衷心会		
事業所名	グループホームまごころ		
所在地	〒859-3722 長崎県東彼杵郡波佐見町岳辺田郷 361		
自己評価作成日	平成25年1月28日	評価結果市町受理日	平成25年4月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	<a href="http://www.kaiyokensaku.jp/42/index.php?action_kouhyou_detail_2010_022_kanji=true&amp;ligosyoCd=4271200588-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022">http://www.kaiyokensaku.jp/42/index.php?action_kouhyou_detail_2010_022_kanji=true&amp;ligosyoCd=4271200588-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022</a>
--------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号
訪問調査日	平成25年2月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

全職員には年間通して必要な、また学びたい研修に積極的に参加してもらい、また委員会（接遇・リスク・感染・レク）を設置し常に自己研鑽に努め、日頃より介護の質の向上に努めている。  
接遇面には特に力を入れ、入居者様にマイナスの感情を抱かせないように常に努めている。  
認知症に有効とされるタクティールケアを取り入れ、現在3名のスタッフが実践に取り組んでいる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

のどかな田園風景の中に建てられたホームは、曲線的な屋根が印象的な平屋造りで、広い中庭の芝生の上では日光浴やグラウンドゴルフを楽しむことができます。  
建物の内部は光溢れるゆとりある空間になっており、ホームのあちらこちらで、利用者と職員が会話等を楽しんでいる姿を見ることができ、明るい笑い声が溢れています。  
数年前にホームに就任した施設長は、職場環境を整える事を重要課題と考え、運営母体の協力の下、研修の支援体制の整備や職員の団結力を高めることに取り組み、現在ではチームワーク良く、のびのびと働きやすい環境が整えられています。そのような環境の中、職員は利用者の気持ちをいつも一番に考えながら、ホームの名前の通り『まごころ』をこめた介護サービスの提供に努められています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念に加え、介護員独自の理念を作成し、職員全員が理念を意識しながら利用者中心のケアに取り組めるよう努力している。	昨年職員で意見を出し合い理念が再編制されています。介護を行う上で大切にしたい事を簡潔にまとめられており、実践に結び付け易くするための工夫がうかがえます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流は少ないが、消防訓練を地域の方々と行ったりつながりが持てるよう意識している。	町内の文化祭への参加や中学生の職場体験の受入れなど地域との繋がりを大切にしながら関係作りに努められています。近所の方から野菜のおすそ分けを頂く事もあるそうです。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に向けた取り組みは出来ていないが、消防訓練や日常生活の中で地域の方と接する機会を作り、地域の方々が認知症の方を知っていただければと考える。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、GHでの取り組み状況や入居者の状況など情報提供を行い、また地域・行政の方の意見をいただきながら質の向上に努めています。	ホームでの様々な取り組みや運営に関する報告を行い、参加者から活発な意見が出されています。休日に敬老会を兼ねて開催するなど、家族が参加し易い工夫も凝らされています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の折や役場訪問時、また事業運営に関する相談などで日頃から連絡を取っている。また施設長はケアセミナー等の世話人をしており、行政とのかかわりを持っている。	定期的に報告や連絡を行うなど日頃より担当者で連携を図りながら関係構築に努められています。相談などがあれば役場へ足を運び、意見やアドバイスを受けられています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は絶対に行わないという思いで全スタッフがケアに取り組んでいる。万一の為に玄関にはセンサーチャイムを設置し事故防止に努めている。</p>	<p>日頃から何が拘束になるのかについて話し合い、お互いに注意し合いながら取り組まれています。利用者の行動は見守り、タイミングを見計らっての声かけに努められています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>接遇には特に力を入れて取り組んでいる。利用者が嫌がる事はしない、言わないを基本に全スタッフが日頃のケアに取り組むことで、虐待防止につなげている。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強する機会が少なく、職員の知識も薄い。以前、ご利用者ご家族に制度について説明を行ったことはある。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に重要事項説明書を用い施設の概要や利用料金等について十分な説明を行い、利用者・家族の意向や疑問を受け、理解して利用して頂けるよう努めている。</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているが、現在までの利用はない。運営推進会議には全利用者ご家族に案内をだし、出席されたご家族から意見や要望を伺うよう努めている。</p>	<p>ケアカンファレンスや面会時に、意見や気付きなどを伺うように努められています。職員は明るく丁寧な対応を心掛け、家族や利用者が気軽に相談ができる雰囲気作りに努められています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は月に1回の職員会議や個人面談の折に職員の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。また各委員会を設け意見を出しやすい環境を整えている。</p>	<p>管理者と職員との良好な信頼関係が築かれており、意見が活発に出されています。困ったことや問題が起きた時には解決策を見出すまで話し合いが行われています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>キャリアアップ昇給制度を定め、また資格取得により、資格手当を付けるようにしている。希望休は概ね希望通りとれるようにしている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は自分が学びたい研修を希望し、毎月1～3名の職員が何かしらの研修に参加し、個人のスキルアップが図れている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域内のケアネットやケアセミナーに積極的に参加し、同業者との交流できる機会となっている。また、他のGHと交流会を企画したり、見学をさせていただいたりして質の向上に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に事前訪問を行い、また入居前に2～3度の施設訪問をしていただくことで、安心して頂くよう努めている。また関係機関からの情報提供を頂き本人の把握に努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込みの段階で十分に耳を傾得、事前訪問の際にもご家族のお話に十分傾聴するよう努めている。また入居前施設訪問を行っていただき早期になじみの関係が気付ける様努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前訪問や関係機関・担当ケアマネからの情報収集等を通じ、必要な支援を見極められるよう努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様中心のケアをめざし、少しでもニーズに応じられるよう取り組んでいる。また、掃除や洗濯物干しなども一緒に行い、その方々の能力に応じて対応している。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月初めに前月の入居者様の様子を担当スタッフがお手紙で報告したり、その時々で状況報告を行っている。また、面会時にはご家族様とのコミュニケーションも大切に支えあえる雰囲気づくりに努めている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の老人会等の食事会に参加されたり、行きつけの美容室へ行かれる際の外出支援を行っている。また、外出する機会を増やし、思い出の場所を訪れたりしている。	友達や知人の面会の帰り際には、「又いつでも遊びに来て下さいね」と笑顔での言葉かけが行われています。ドライブの帰りに昔住んでいた家の近くを訪れたりする取り組みも見られます。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	洗濯物干しなど軽作業を入居者の方にお願ひし互いに協力して頂いている。皆で過ごす時間には職員もゆとりをもって過ごし、話がかみ合わない場合や執拗な話をされる場合など職員が間に入り関係性が損なわれないよう努めている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	殆どが長期入院による退居となられるが、折を見て面会に行ったり、ご家族様とも親しくお話しさせていただき、関係性が途切れないようにしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションの中で、入居者の思いに触れ、少しでも意向に沿えるよう努めている。また、家族様からの情報や生活歴を元にその人らしい生活を送れるよう模索している。	利用者の希望に添えるように日頃から気持ちに寄り添い、話を傾聴するように努められています。それまでの生活のリズムを大切にされ、消灯時間なども利用者の意思に任されています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時には以前のケアマネや施設からの情報、また事前調査時にご本人ご家族より情報を頂き、その内容を職員が閲覧できるようにしている。また、職員は面会時などに折に触れ情報を得ている。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人のリズムやその日の体調に合わせ支援している。また、個人の能力に応じ出来ることを把握し、役割りを持った生活が出来るよう努めている。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月の職員会議の後や適宜、カンファレンスを設け、ケア内容の確認や見直しを行っている。その後家族を含め介護計画の説明・同意を頂いている。職員は担当入居者の把握に努め、計画作成に反映させている。</p>	<p>ひもときシートを活用し、本当に困っていることを追求して、課題が整理されています。担当職員だけではなく、両ユニットの合同カンファレンスで職員の意見を出し合いケアプランが作られています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ケース記録、夜勤・日勤日誌、また連絡ノート等を活用し情報共有に努めている。実践の記録と計画の見直しを充実させるため計画作成ツールの見直しを行っている。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療面や外出支援など突然のニーズにも対応できる様取り組んでいる。また同敷地内に精神科DCがあり、DCのメンバーとの交流を図ったり、季節のイベントを行っている。</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防訓練では消防署の指導を仰いでいる。出張美容室や婦人会のボランティア活動なども受け入れている</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者や家族の希望するかかりつけ医を主治医にしたり、併設の病院や協力医療機関との連携も密に行っている。協力医療機関は週1回往診に来て頂いている</p>	<p>家族や本人の希望があればかかりつけ医の継続も可能です。かかりつけ医や運営母体である医療機関との連携、協力体制は整っており、家族にも適切な連絡が行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤職員に看護師、准看護師を配置し、異常や特変時にはすぐに連絡が取れる様になっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には看護・介護サマリーを提出し、連携を図りやすくしている。また適宜面会に訪れ状態を確認したり、入院先の看護師より情報を得たりしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のに向けた体制が十分でないが、ご家族に事前指定書を記入して頂き、緊急時、終末期の家族の意向を確認している。</p>	<p>現段階で実績はありませんが、看取りを行う方向で検討が進んでおり、研修や勉強会などに取り組まれています。終末期ケアを実施するに当たっての明確な方針の確立が待たれます。</p>	<p>利用者の状況が急変した場合にもスムーズに対応し、明確な指針が示せるように、現状でホームが支援出来ること、出来ないことを整理され、体制づくりを進められることが求められます。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の連絡網や緊急時対応マニュアルは整備しているが、心肺蘇生法の学習会の機会が少なく職員の技術習得には至っていない</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に二回消防署の指導の下消防訓練を行っている。また運営推進会議を通して地域住民の協力をお願いしている</p>	<p>地域住民の参加による避難訓練が行われ、実施後には反省点などについて話し合われています。通報システムや排煙装置も設置されています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇委員を設置し、一人一人にあった丁寧な対応を心掛けている。また、入浴や排泄ケアなど羞恥心には十分な配慮を行い、トイレを使用しなければならない方にはスクリーンなどを使用し、プライバシーの確保に最大限努めている 職員は利用者を尊重しながら敬意を持って接し、プライバシーの確保にも努められています。入浴支援では、脱衣所から浴室までバスタオルで身体を隠すなどの羞恥心に配慮した取り組みも見られません。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中でも何気なく本人の意向や思いを聞くように心がけている。また促すのではなく、伺って自己決定できるように努めている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の自己決定を大切にし、その方のペースで生活して頂ける様努めている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪に気を配り、洋服などは本人の自主性を重んじる。本人の意向などを踏まえ、顔そりやお化粧をすることもある。理美容は本人の希望する理美容院へ外出支援したり、訪問理容を利用している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常に温かい物を提供できる様努めている。毎食利用者と職員と一緒に食べ、楽しい雰囲気作りに努めている。誕生日には食べたい物をメニューに取り入れている。また好き嫌いにも配慮し個人的に対応している。 毎日の食事は盛り付けや彩りにも気を配り、食欲が出るよう工夫されています。野外で弁当を食べたり、担当者と共に回転寿司やレストランへ出掛けたりと外で食事を楽しむ支援も行われています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	給食日誌に食事摂取量・水分摂取量を毎食記入し、一人一人の摂取量を把握できるようにしている



42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアはもちろんの事、昼食前には口腔体操や食前の口腔ケアも実施している。口腔ケア委員を設け、肺炎などの二次障害への防止に向け取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>オムツやパットの使用などその方の状態に応じて対応している。自尊心を尊重した対応を心掛け、誘導が必要な方にはさりげなく声掛けをしている。極力トイレで排泄ができるよう努めている。</p>	<p>排泄の自立を促す為、尿意のある方には誘導ではなく本人の意思を尊重するような言葉をかけられています。また、立ち上がり時の動きなど、サインを見逃さないようにされています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況は排泄チェック表に記入し職員が把握できるようにしている。水分の摂取状況も確認し、運動も行っているが、最終的に下剤や坐薬に頼っている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日、入浴時間は決まっているが、利用者の状態、希望を踏まえ入浴して頂いている。一人一人ゆっくりと入れるよう工夫し、バスクリンを使用することで入浴を楽しめるよう工夫している</p>	<p>お風呂をゆっくり楽しんで頂くため、1日3人までと定められています。入浴する際の補助具も充実しており、自力での入浴が困難な方にもシャワー浴を行うなど清潔保持に努められています。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者一人一人の起床時間・就寝時間に応じて対応している。眠れない方にはホットミルクや軽い食べ物を提供し、安眠して頂ける様努めている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者一人一人の内服薬の理解は難しいが、日々の介護の中でちょっとした変化に気付き内服薬との関係性を検討している。お薬情報を記録と共にファイルし、服薬介助の際も誤薬に注意し呼名に努めている</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物干しや洗濯物畳み、お盆拭きやテーブル拭きなど、その方々の力に応じて一緒に取り組んでいる。またミルクティーやプリンなど嗜好品でも楽しめる様努めている。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>季節ごとのお出かけに加え、普段でも希望があれば柔軟にドライブに出かけたり買い物に行ったりしている。家族や地域の方の協力で地域行事に出かける方もおられる</p>	<p>天気の良い日は散歩やドライブに出かけられています。ドライブでは足湯に立ち寄りたり、外出先でファストフードを食べたりと、リフレッシュできる外出支援が行われています。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理出来る方には少額のお金を所持して頂いている。買い物に出かけお金を使うことの雰囲気を味わって頂ける様努めている。殆どの方は事務所で管理している</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>何時でも希望があれば電話を掛けられるようにしている</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは日当たりも良く、殆どの方が一緒に過ごし、テレビや音楽、体操などを毎日行っている。季節ごとに飾り付けを工夫したり、利用者さんの写真を飾ったりして、居心地良い雰囲気を作っている</p>	<p>高い天井のホールには柔らかな光の間接照明が設えられ、明るく開放的な空間が作られています。床暖房や掘り炬燵のある畳スペース等、快適に過ごして頂くための配慮が随所に見られます。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にはソファ、テーブル、居間があるが、入居者一人一人が思いのまま自由に過ごされている。一人になりたい方は居室にて思い思いに過ごされる</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使っておられたものを持ってきて頂くようお願いしている。また居室内や居室入口に写真を飾り安心して居室で過ごせるよう努めている	使い慣れた品々や仏壇、テレビなど、持込みは基本的に自由とされています。利用者の混乱を避ける為に、入居時に決定した部屋はホームの都合で移動しないようにされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の能力に応じてホールのテーブルの配置を検討したり、和室にスリッパのまま入れるように工夫したりしている。夜間は居室トイレの明りをつけたままにしたりして、自立を妨げないよう努めている		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
		○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念に加え、介護員独自の理念を作成し、職員全員が理念を意識しながら利用者中心のケアに取り組めるよう努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流は少ないが、消防訓練を地域の方々と行ったりつながりが持てるよう意識している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に向けた取り組みは出来ていないが、消防訓練や日常生活の中で地域の方と接する機会を作り、地域の方々が認知症の方を知っていただければと考える。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、GHでの取組み状況や入居者の状況など情報提供を行い、また地域・行政の方の意見をいただきながら質の向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の折や役場訪問時、また事業運営に関する相談などで日頃から連絡を取っている。また施設長はケアセミナー等の世話人をしており、行政とのかかわりを持っている。		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は絶対に行わないという思いで全スタッフがケアに取り組んでいる。万一の為に玄関にはセンサーチャイムを設置し事故防止に努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>接遇には特に力を入れて取り組んでいる。利用者が嫌がる事はしない、言わないを基本に全スタッフが日頃のケアに取り組むことで、虐待防止につなげている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強する機会が少なく、職員の知識も薄い。以前、ご利用者ご家族に制度について説明を行ったことはある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に重要事項説明書を用い施設の概要や利用料金等について十分な説明を行い、利用者・家族の意向や疑問を受け、理解して利用して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているが、現在までの利用はない。運営推進会議には全利用者ご家族に案内をだし、出席されたご家族から意見や要望を伺うよう努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は月に1回の職員会議や個人面談の折に職員の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。また各委員会を設け意見を出しやすい環境を整えている。</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>キャリアアップ昇給制度を定め、また資格取得により、資格手当を付けるようにしている。希望休は概ね希望通りとれるようにしている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は自分が学びたい研修を希望し、毎月1～3名の職員が何かしらの研修に参加し、個人のスキルアップが図れている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域内のケアネットやケアセミナーに積極的に参加し、同業者との交流できる機会となっている。また、他のGHと交流会を企画したり、見学をさせていただいたりして質の向上に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に事前訪問を行い、また入居前に2～3度の施設訪問をしていただくことで、安心して頂くよう努めている。また関係機関からの情報提供を頂き本人の把握に努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込みの段階で十分に耳を傾得、事前訪問の際にもご家族のお話に十分傾聴するよう努めている。また入居前施設訪問を行っていただき早期になじみの関係が気付ける様努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前訪問や関係機関・担当ケアマネからの情報収集等を通じ、必要な支援を見極められるよう努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様中心のケアをめざし、少しでもニーズに応じられるよう取り組んでいる。また、掃除や洗濯物干しなども一緒に行い、その方々の能力に応じて対応している。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月初めに前月の入居者様の様子を担当スタッフがお手紙で報告したり、その時々で状況報告を行っている。また、面会時にはご家族様とのコミュニケーションも大切に支えあえる雰囲気づくりに努めている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方が遊びに来られたり、時折、自宅や地元まで外出支援を行っている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で過ごす時間には職員もゆとりをもって過ごし、話がかみ合わない場合や執拗な話をされる場合など職員が間に入り関係性が損なわれないよう努めている。		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	殆どが長期入院による退居となられるが、折を見て面会に行ったり、ご家族様とも親しくお話しさせていただき、関係性が途切れないようにしている。		
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションの中で、入居者の思いに触れ、少しでも意向に沿えるよう努めている。また、家族様からの情報や生活歴を元にその人らしい生活を送れるよう模索している。		



24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時には以前のケアマネや施設からの情報、また事前調査時にご本人ご家族より情報を頂き、その内容を職員が閲覧できるようにしている。また、職員は面会時などに折に触れ情報を得ている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人のリズムやその日の体調に合わせて支援している。また、個人の能力に応じ出来ることを把握し、役割りを持った生活が出来よう努めている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月の職員会議の後や適宜、カンファレンスを設け、ケア内容の確認や見直しを行っている。その後家族を含め介護計画の説明・同意を頂いている。職員は担当入居者の把握に努め、計画作成に反映させている。</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ケース記録、夜勤・日勤日誌、また連絡ノート等を活用し情報共有に努めている。実践の記録と計画の見直しを充実させるため計画作成ツールの見直しを行っている。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療面や外出支援など突然のニーズにも対応できる様取り組んでいる。また同敷地内に精神科DCがあり、DCのメンバーとの交流を図ったり、季節のイベントを行っている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防訓練では消防署の指導を仰いでいる。出張美容室や婦人会のボランティア活動なども受け入れている</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者や家族の希望するかかりつけ医を主治医にしたり、併設の病院や協力医療機関との連携も密に行っている。協力医療機関は週1回往診に来て頂いている</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤職員に看護師、准看護師を配置し、異常や特変時にはすぐに連絡が取れる様になっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には看護・介護サマリーを提出し、連携を図りやすくしている。また適宜面会に訪れ状態を確認したり、入院先の看護師より情報を得たりしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のに向けた体制が十分でないが、ご家族に事前指定書を記入して頂き、緊急時、終末期の家族の意向を確認している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の連絡網や緊急時対応マニュアルは整備しているが、心肺蘇生法の学習会の機会が少なく職員の技術習得には至っていない</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に二回消防署の指導の下消防訓練を行っている。また運営推進会議を通して地域住民の協力をお願いしている</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>接遇委員を設置し、一人一人にあった丁寧な対応を心掛けている。また、入浴や排泄ケアなど羞恥心には十分な配慮を行い、Pトイレを使用しなければならない方にはスクリーンなどを使用し、プライバシーの確保に最大限努めている</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常の会話の中でも何気にも本人の意向や思いを聞くように心がけている。また促すのではなく、伺って自己決定できるように努めている。</p>
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の自己決定を大切にし、その方のペースで生活して頂ける様努めている。</p>
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>自分で出来られない方の整髪に気を配り、洋服などは本人の希望される洋服を着ていただいている。理美容は訪問理容を利用している。</p>
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>常に温かい物を提供できる様努めている。毎食利用者と職員と一緒に食べ、楽しい雰囲気作りに努めている。誕生日には食べたい物をメニューに取り入れている。また好き嫌いにも配慮し個人的に対応している。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>給食日誌に食事摂取量・水分摂取量を毎食記入し、一人一人の摂取量を把握できるようにしている</p>

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアはもろんの事、口腔ケア委員を設け、肺炎などの二次障害への防止に向け取り組んでいる。</p> <p>口腔ケアが困難な方にどのような接し方でアプローチできるかを模索している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>オムツやパットの使用などその方の状態に応じて対応している。自尊心を尊重した対応を心掛け、誘導が必要な方にはさりげなく声掛けをしている。極力トイレで排泄ができるよう努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況は排泄チェック表に記入し職員が把握できるようにしている。水分の摂取状況も確認し、運動も行っているが、最終的に下剤や坐薬に頼っている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日、入浴時間は決まっているが、利用者の状態、希望を踏まえ入浴して頂いている。一人一人ゆっくりと入れるよう工夫し、バスクリンを使用することで入浴を楽しめるよう工夫している</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者一人一人の起床時間・就寝時間に応じて対応している。眠れない方にはホットミルク、コーヒーや軽い食べ物を提供し、安眠して頂ける様努めている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者一人一人の内服薬の理解は難しいが、日々の介護の中でちょっとした変化に気付き内服薬との関係性を検討している。お薬情報を記録と共にファイルし、服薬介助の際も誤薬に注意し確認に努めている</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>出来られる方は少ないが、洗濯物量をお願いし都度お礼を述べる様にしている。毎日自主的にホール内を運動される方がおられ、継続してできるよう声掛けを行っている。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>季節ごとのお出かけや、外食を年2回程計画している。車椅子使用者が多く、希望に沿えないことが多いが、自宅や地元へドライブすることもある。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理出来られる方には少額のお金を所持して頂き、日用品の支払いを所持金からされる方もいる。殆どの方は事務所で管理している</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>何時でも希望があれば電話を掛けられるようにしている</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールには季節ごとに飾り付けを工夫したり、利用者さんの写真を飾ったりして、居心地良い雰囲気を作っている。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にはソファ、テーブル、居間があるが、入居者一人一人が思いのまま自由に過ごされている。一人になりたい方は居室にて思い思いに過ごされる</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使っておられたものを持ってきて頂くようお願いしている。また居室内に家族や孫の写真を飾り安心して居室で過ごせるよう努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	和室にスリッパのまま入れるように工夫したり、洋室を這うことができるようウレタンシートを敷き詰め自立を妨げないよう工夫したりしている。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
		○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない